

昼休みデモ60人 仙台



デモ行進する参加者 23日、仙台市

5野党合意を力にして

仙台市で23日、戦争法の廃止を求める昼休みデモが取り生まれ、約60人が参加しました。一番町商店街の南北両端から二手に分かれたデモ隊が、「自衛隊を戦場に送るな」と訴え行進しました。

集会を開き、春闘共闘の安藤満代表幹事が戦争法廃止、選挙協力の5野党党首合意について「私たちの運動の成果だ。情勢を切り開いた方に確信を持ち、さらに戦争法廃止に向け頑張ろう」と呼びかけました。

日本共産党の大内真理県議が「日本共産党はみなさんと一緒に、安倍政権に代わる『命と個人の尊厳を守る政府』樹立のために頑張ります」と訴えました。

賃上げなど訴え 春闘へ決起集会

仙台で共闘会議

県労連などをつくる県春闘共闘会議は23日、賃金引き上げや労働環境改善などを求める春闘統一行動を仙台市などで展開した。

仙台市青葉区の仙都會館で開いた決起集会には約30人が参加。鈴木新代表幹事



労働条件改善など活動方針を確めた決起集会

は「2016年春闘は賃上げと安保法制廃止が大きな柱。全ての労働者の労働条件改善を闘いの中心に据える」とあいさつした。

仙台市内の商店街で中小企業支援の拡充や消費税増税中止を求める署名を集めたほか、最低賃金引き上げなどを訴える要請書を宮城労働局に提出する活動も行った。

連合宮城も集会

連合宮城は23日、2016年春闘の総決起集会を仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で開いた。県内の32産別から約400人が参加し、賃上げの実現に向け団結を誓った。

小出裕一会長はあいさつで「景気回復につながる消

待遇の格差是正などを求めデモ行進する組合員ら



費拡大のためにも労働者の賃上げは不可欠。社会的使命を持って春闘に臨む」と呼び掛けた。

集会終了後、参加者は商店街などをデモ行進し、待遇の労働者間格差是正などを訴えた。連合宮城は同日、統一要求として6000円(2%)以上のベースアップを正式に決めた。